

2026 年 8 月新刊

(予定)

東京が世界にほこる文化的遺産の  
玉川上水について、  
深く知ることができる絵本。

文・絵 青柳明日香  
監修 渡部一二  
須藤訓平



江戸のくらしをささえた水の道

玉川上水

絵で読む

たまがわじょうすい

小学 4 年社会  
「とどけよう命の水  
～玉川兄弟と  
玉川上水の開発～」\*  
の学習に役立つ。

\*副読本「わたしたちの東京都」掲載

詳しい内容は、  
裏面を  
ご覧ください。

ポプラ社

授業に使える！  
調べ学習の資料として最適！  
美しい絵とやさしい文章でわかりやすい！  
類書のない充実した内容！

探究

する心を育む。

地域

への関心を深める。

未来

への主体的な関わりが  
見つかる。

## 「玉川上水」って？

1603 年、徳川家康が江戸に幕府を開きます。全国から人が集まり、爆発的に人口がふえた江戸のまちでは人びとの飲み水に困るようになりました。そこで、1653 年に羽村から多摩川の水を引いてつくられた上水道が「玉川上水」です。

その後、江戸のまちから西の武蔵野台地には玉川上水の分水が多数つくられ、人びとのくらしを支える水となりました。

いま、玉川上水は東京の貴重な「水と緑の道」として、多くの人たちから愛され、守られる存在となっています。

2026 年 3 月、玉川上水を江戸城外濠とつなげる東京都による計画も公表されました。今後、玉川上水への注目がますます高まることが予想されます。

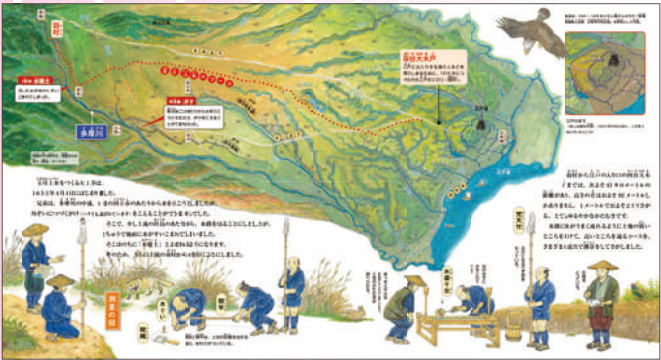
※表紙や紙面、仕様等は変更の可能性があります。

ISBN978-4-591-18966-5 / 40 ページ / 26×24cm

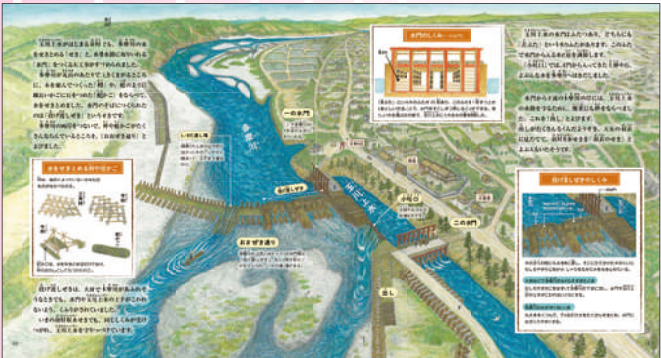
定価：本体 3,000 円（税別）

読者対象：小学校中学年からおとなまで

本文の一部をご紹介します



**水路のコース決めと失敗、測量の方法**  
玉川上水の始点の羽村から終点の四谷大木戸まで、ゆるやかなかたむきしかありません。測量の方法やくりかえした失敗とは？



**羽村取水せき**  
玉川上水がはじまる羽村取水せきのようすを紹介しています。「投げ渡しげき」とよばれる、せきのしくみもわかります。



**小金井桜**  
小金井橋のあたりに桜が植えられました。いまま残る桜の名所を風情たっぷりの日本画で描きます。

**著者プロフィール**

**文・絵 青柳明日香**（あおやぎ・あすか）  
日本画家。2000 年多摩美術大学大学院修士課程美術研究科絵画専攻日本画修了。卒業後は個展・グループ展などで日本画作品を発表しながら、美術講師として絵画の指導を行う。現在、横浜美術協会会員。

**監修 渡部一二**（わたべ・かずじ）  
1938 年、北海道に生まれ、愛媛県で育つ。東京芸術大学大学院修士課程修了。多摩美術大学名誉教授。農学博士。おもな著作に、『生きている水路 その造形と魅力』『図解 武蔵野の水路 玉川上水とその分水路の造形を明かす』など多数。晩年はとくに品川用水の調査・研究に力をそそぐ。2025 年没。

**監修 須藤訓平**（すどう・くんぺい）  
1979 年、東京都に生まれる。多摩美術大学大学院博士課程修了。芸術博士。水緑空間デザイン研究所幹事長。ランドスケープアーキテクト。おもな研究は、浮世絵から読み解く江戸の水辺空間と都市構造について。

| 書店番線印 | 書 名                                     |      |                      |
|-------|-----------------------------------------|------|----------------------|
|       | <b>絵で読む 玉川上水 江戸のくらしをささえた水の道</b>         |      |                      |
|       | ISBN978-4-591-18966-5 定価：本体 3,000 円（税別） |      |                      |
|       | 注文数                                     | 客注備考 | 発売予定<br><b>8 月下旬</b> |
|       | 冊                                       |      |                      |